

施策：	01	子育て支援の推進	財務コード	--
基本事業：	01	幼児教育・保育の充実	担当部	こども部
基本事業の成果指標	待機児童数（保育所） 待機児童数（放課後児童クラブ） 保育サービスの満足度		担当課	こども政策課
			担当係	保育担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和03年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内の賃貸住宅に居住する保育士に家賃の一部の助成を行う保育所等（私立保育園、認定こども園、小規模保育所）			（事業内容） 保育士の確保及び離職防止を図るため、市内の賃貸住宅に居住する正規職員保育士に家賃の一部の助成を行う保育所等に対して補助金を交付する。 （補助金の内容） 本人が契約者であり、かつ、市内の賃貸住宅に居住し、保育所等から住宅手当を受けている場合に、月額10,000円を上限に施設を通じて補助する。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【根拠法令】筑紫野市保育士家賃助成事業補助金交付要綱						
保育士の安定的な確保および離職防止を図ることで、保育士不足によって受入人数が減る状況を防ぎ、待機児童の減少につなげる。			【補助金】なし 市単独事業						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
私立保育園の保育士数（延べ数）		人	4,055	3,902	4,100	0			
5. コスト									
事業費		計	千円	6,573	6,210				
		国	千円	0					
		県	千円	0					
		地方債	千円	0					
		その他	千円	0					
一般	千円	6,573	6,210						
正職員人工数		人工	0.1	0.1					
正職員人件費		千円	782	802					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	7,355	7,012					
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		（状況）令和6年度は58人の保育士に対し補助金を交付し、交付人数はほぼ横ばいです。 （原因）私立保育園の保育士数もほぼ横ばいですが、保育士の安定的な確保及び離職防止に同事業が貢献しているものと考えられます。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
令和7年度から保育人材確保対策事業に統合されます。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
令和3年度に市保育士家賃助成事業補助金交付要綱を制定。			令和5年度 11園、59人 令和6年度 10園、58人						